

「鳩山町地域包括ケアセンター」オープン

鳩山町では、団塊の世代の方が75歳以上となる平成37年には、65歳以上の高齢者人口割合が50%になると推計(第6期介護保険事業計画)され、2人に1人が高齢者になる見込みです。そこで、町では高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生活を継続することができるための施設を、旧松栄小学校内に整備しました。今月号では、2月に開所した「介護老人福祉施設 鳩山松寿園東館」に続き、隣接して7月2日(日)にオープンする「地域包括ケアセンター」の概要をご紹介します。

3つの機能を有する施設

地域包括ケアセンターは、在宅で生活する高齢者の皆さんなどを支援するため、3つの機能(地域包括支援センター、地域の交流スペース、デイサービスセンター)を有しています。

地域包括支援センター

高齢者を対象とした包括的な相談や支援を行う施設で、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師などが連携を取りながら高齢者の介護や健康、認知症、権利擁護に関することなど、さまざまな相談や悩みごとに対応していくとともに、各種介護予防事業も実施していきます。(現在、保健センターに併設している地域包括支援センターが移設するものです。)

地域の交流スペース

面積約600㎡の屋内空間で、リハビリや体操教室などの介護予防事業や健康づくり事業、子どもから高齢者まで多世代が交流できる事業を開催するほか、町の健康診断や選挙の投票所、さらに災害時には避難所としても利用する予定です。なお、地域交流スペースの利用予約などについては、4ページをご覧ください。

デイサービスセンター

療養通所介護ががん末期、難病などで常時看



多世代活動交流センター屋上から地域包括ケアセンターを臨む

- ① 施設に常駐する看護師による医療の相談窓口を設置し、在宅で生活する、医療が必要な高齢者やその家族を支援します。
- ② 訪問看護 主治医により訪問看護が必要と認められた方に対して、医療保険や介護保険を使ってサービスを提供します。
- ③ 居宅介護支援事業 介護を必要とされる方が適切なサービスを利用できるように、ケアマネージャーが心身の状態や生活環境を配慮し、本人と家族の要望に沿ったケアプランを作成します。
- ④ 医療・在宅療養支援に関する相談

施設に常駐する看護師による医療の相談窓口を設置し、在宅で生活する、医療が必要な高齢者やその家族を支援します。

⑤ 医療・介護者・ボランティアの研修 医療・介護関係機関等と連携し、療養通所介護や訪問看護などの研修を通して、保健医療福祉の連携・協働の重要性について学び、医療・介護に関わる人材育成に努めます。

問合せ 鳩山町地域包括支援センター
TEL296-7700 FAX298-0077

鳩山町 コミュニティ・マルシェ

親しまれる施設となるよう願いをこめて第5回七タ&オープンカフェ(ニュータウンふくしプラザ)といっしょに、7月1日(土)にオープン

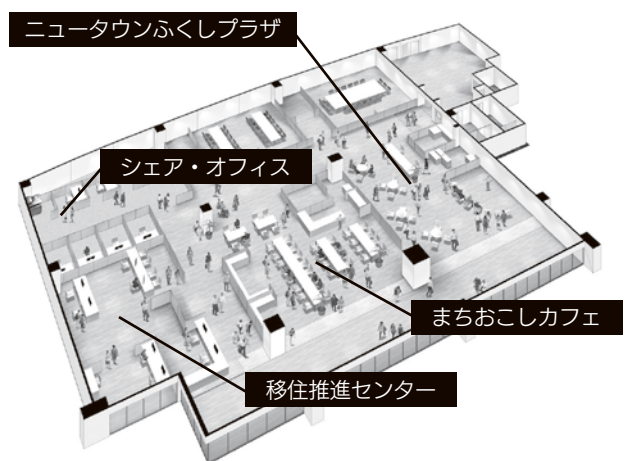
鳩山町は、国の地方創生加速化交付金の採択を受け、鳩山ニュータウン地域のアクティブ化を目的とした「鳩山町生涯活躍のまち構想推進による住宅団地アクティブ化事業」を進めています。鳩山町コミュニティ・マルシェは、この住宅団地アクティブ化事業を具体的に展開するため、タウンセンター内の空き店舗(旧西友リビング館)を町が取得して整備を進めている複合的な拠点施設です。

マルシェ内には、「ニュータウンふくしプラザ」「まちおこしカフェ」「移住推進センター」「シェア・オフィス」などが配置されますが、「まちおこしカフェ」を除いた施設が、「第5回七タ&オープンカフェ」(詳細は16ページ参照)といっしょに、7月1日(土)にオープンします。

コミュニティ・マルシェは「町民参加型で、自立性が高く、魅力的な管理運営」を目指していきます。

なお、まちおこしカフェは、7月1日からカフェ運営者の募集を開始し、9月1日からのオープンを予定しています。

問合せ 役場政策財政課
TEL296-1212 FAX296-2594



コミュニティ・マルシェ内のイメージ

地域包括ケアセンターの開所にあわせて開催「開所式典・講演会・施設内覧会」

期日 平成29年7月2日(日)
場所 地域包括ケアセンター

内容

第一部 開所式典(午前10時~10時30分)
・開式、式辞、祝辞、施設の概要説明等

第二部 開所記念講演会(午前10時30分~正午)
・演題「健康長寿のまち はとやま」をみんなでつくろう」
・講師 後藤 純先生(東京大学 高齢社会総合研究機構 特任講師 工学博士)
・定員 200人(費用無料・申込不要)

内覧会(正午~午後5時)

問合せ 鳩山町地域包括支援センター
TEL296-7700 FAX298-0077

